

授業科目名 (英文名)	スモール・ビジネス論 (経営学部・ 専門科目) (Small Business Manage ment)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	池田 潔	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>我が国企業の大半を占める中小企業について、マクロ的側面とミクロ的側面からの講義を行う。これにより、現代中小企業が置かれている状況と、個々の中小企業の経営戦略や自律型中小企業の行動について理解する。</p> <p>到達目標は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代中小企業が置かれている状況と現代中小企業に求められているものについて経済学的視点から理解する。 2. 個々の中小企業の経営戦略を理解する。 		
講義内容・授業計画	<p>講義内容 前半は、現代中小企業が置かれている状況をマクロ的に把握し、後半は個別中小企業の経営戦略、自律型中小企業の活動実態について講義する。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 本講義の目標や概要を説明する。 2. 中小企業の地位と役割 3. 下請システムと中小企業 4. 中小企業と金融問題 5. 中小企業と労働問題 6. 産業集積と中小企業 7. 地域経済と地場産業 8. 流通システムの変化と中小流通業 9. 中小小売業とまちづくり 10. 情報化、IT革命と中小企業 11. 新規開業企業の展開と中小・ベンチャー企業 12. 中小企業の成長と課題 13. 中小企業と多様なネットワーク 14. グローバル活動と中小企業 15. 中小企業政策 16. 前半のまとめ 17. 後半のガイダンス 18. 中小企業と経営問題 19. 個別企業から見る中小企業と自律型下請企業 20. 中小企業の経営革新とイノベーション 21. 自律型下請企業の発展の軌跡と経営戦略 22. 自社製品を有する企業に求められる経営戦略 23. 地域性を有する中小企業の行動 24. 地域・社会の課題解決を図るソーシャルビジネスとCSR 25. 中小企業のCSR・CSVの取組実態 26. 地域密着型小売業に見るCSR活動とCSVの実現 27. 買物弱者支援企業に見る中小企業のソーシャルビジネス 28. 障害者雇用に取り組む中小企業 29. 地域社会との共生を図る中小企業 30. 後半のまとめ 31. 評価 (到達度の確認) 		
テキスト	<p>上野・高田他編著 『現代中小企業論』 同友館 2009年 池田潔 『現代中小企業の経営戦略と地域・社会との共生』 ミネルヴァ書房 2018年 (生協等で購入すること)</p>		

参考文献	適宜指示する。
成績評価の基準・方法	現代中小企業が置かれている状況と現代中小企業に求められているものについて経済学的視点からの理解度、個々の中小企業の経営戦略に関する理解度を定期試験70%、小テスト30%を基準として評価する。
履修上の注意・履修要件	事前にテキストの該当箇所に目を通し、問題意識を持って授業に臨むこと。
実践的教育	該当しない。
備考	中小企業から社会が見られるよう、受講生は問題意識を持って臨むこと。